

2017 年 5 月 12 日

株式会社 K-engine の株式譲渡について

株式会社産業革新機構（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有する株式会社 K-engine（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：原口誠司、以下「K-engine」）の全株式について、株式会社 LIXIL（本社：東京都江東区、代表取締役社長兼 CEO：瀬戸欣哉、以下「LIXIL」）に譲渡しましたのでお知らせいたします。

INCJ は 2014 年 9 月、住宅建築の IT プラットフォームサービスを提供する K-engine への投資を決定し、社外取締役の派遣などの経営サポートを通して、支援をしてきました。

K-engine は、中小の住宅建設会社に対して、図面投入・積算・実行予算・工程表までを一貫して実現する「ベーシックサービス」を中心とした、新築とリフォーム関連向けのサービスを提供しています。同サービスは、見積や工程表を正確かつスピーディーに作成することを実現し、これまで多くの住宅建設会社に導入されてきました。

この度、両社の協議により、K-engine の更なる事業発展のためには LIXIL に経営を委ねることが最善と判断し、INCJ は今回保有する K-engine の全株式を LIXIL に譲渡いたしました。

参考） INCJ は 2014 年 9 月に「住宅建築会社へ革新的 IT プラットフォームサービスを提供する株式会社 K-engine への出資を決定」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1418095572.01.pdf>

株式会社 K-engine（ケイエンジン）について

設立	2011 年 8 月
事業内容	住宅産業に特化した IT プラットフォームサービスとモバイル通信サービスの提供
所在地	東京都新宿区
代表取締役社長	原口 誠司
URL	http://k-engine.jp/

株式会社 LIXIL について

設立	2001 年 10 月
事業内容	建設・設備機器事業、流通・小売り事業、住宅・サービス事業
所在地	東京都江東区
代表取締役社長兼 CEO	瀬戸 欣哉
URL	http://www.lixil.co.jp/

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井 東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 21 階 電 話：03-5218-7202 URL： http://www.incj.co.jp/

[別紙]

1. 対象事業会社

株式会社 K-engine

- ・設 立 : 2011 年 8 月
- ・代表者 : 原口誠司
- ・所在地 : 東京都新宿区
- ・事業内容 : 住宅産業に特化した IT プラットフォームサービスとモバイル通信サービスの提供

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額: 20 億円(上限)
- ・実投資額: 20 億円
- ・共同投資家: 株式会社 LIXIL(設立当時)
- ・株式保有割合: 非公表
- ・支援決定公表日: 2014 年 9 月
<https://www.incj.co.jp/news/upload/docs/1418095572.01.pdf>
- ・投資ストラクチャー図:
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1491814430.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

K-engine は、2011 年 8 月、「自動見積もり」を中心とした IT プラットフォームサービスを提供することで、住宅建築会社の業務プロセスの大幅な改善・効率化を実現し、中小住宅建築会社の競争力強化を支援することを目的に設立されたベンチャー企業です。

INCJ は、2014 年 9 月、K-engine の事業を推進し、共通化されたプラットフォームを活用することで、規模の制約から独自のシステム投資が困難であり、業務プロセスの効率化が進まない中小住宅建築業界の構造を変革できると判断し、同社の成長資金として 20 億円を上限とする投資を決定し実行しました。

(2) 事業の進捗

INCJ 投資以降、新築向け自動見積もりシステムについては当初計画から遅れが生じた一方、リフォーム向け自動見積もりシステムについては、顧客からのニーズも強く受注も拡大してきました。新会社事業を立ち上げ、サービスをローンチさせるという当初の目的は一定程度達成され、この間に築いた事業モデルをベースに、今後 K-engine がより一層のサービス高度化を目指していくフェーズに移っていくことになりました。

(3)Exit の経緯・内容

INCJ および LIXIL は、K-engine の事業展開について協議を行った結果、単独で事業を継続するよりも LIXIL に経営を委ねた方が最善であるとの判断に至り、INCJ は、2017 年 5 月、保有する K-engine の株式全部を LIXIL に譲渡することとなりました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

ベンチャー企業等への積極的な支援は、今後も我が国の産業競争力の強化において重要である。本案件の課題を踏まえ、引き続きベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。